



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 株式会社クレハ 上場取引所 東  
 コード番号 4023 URL <http://www.kureha.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 豊  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 数井 明生 (TEL) 03-3249-4651  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	69,497	15.4	7,249	60.7	7,177	101.3	5,776	86.6	5,763	88.8	9,122	—
29年3月期第2四半期	60,228	△10.1	4,512	△9.9	3,564	△25.8	3,095	△8.7	3,052	△11.6	△345	—
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
30年3月期第2四半期	325.46				278.86							
29年3月期第2四半期	177.61				147.70							

(注) 平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、基本的1株当たり四半期利益および希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	239,102	145,335	143,566	60.0
29年3月期	234,907	125,972	124,297	52.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.50	—	55.00	—
30年3月期	—	55.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に併合しました。平成29年3月期第2四半期末の配当金は当該株式併合前の金額を記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,000	9.6	12,000	29.6	12,000	33.6	9,300	32.8	493.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	19,932,440株	29年3月期	18,168,390株
30年3月期2Q	150,139株	29年3月期	983,280株
30年3月期2Q	17,709,594株	29年3月期2Q	17,186,334株

(注)平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 今後の見通し .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(資本およびその他の資本項目) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、昨年度からの緩やかな回復基調が継続しました。また、世界経済も米国、欧州およびアジア経済圏で比較的堅調に推移しました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上収益は前年同期比15.4%増の694億97百万円、営業利益は前年同期比60.7%増の72億49百万円、税引前四半期利益は前年同期比101.3%増の71億77百万円、四半期利益は前年同期比86.6%増の57億76百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比88.8%増の57億63百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上収益			営業利益		
	前第2四半期	当第2四半期	増減	前第2四半期	当第2四半期	増減
機能製品事業	14,662	19,811	5,149	572	1,403	830
化学製品事業	11,200	12,641	1,440	761	1,909	1,147
樹脂製品事業	20,985	22,228	1,243	2,276	3,335	1,058
建設関連事業	5,893	7,234	1,340	394	217	△177
その他関連事業	7,487	7,582	95	355	599	244
調整額(注)	—	—	—	150	△215	△366
連結合計	60,228	69,497	9,269	4,512	7,249	2,736

(注) 営業利益の調整額には、報告セグメントに配分していないその他の収支が含まれております。

## ① 機能製品事業

機能樹脂分野では、リチウムイオン二次電池用バインダー用途向けのフッ化ビニリデン樹脂、PPS樹脂、シエールオイル・ガス掘削用途向けのPGA(ポリグリコール酸)樹脂および加工品の売上げは増加し、この分野での売上げ、営業利益は共に増加しました。

炭素製品分野では、売上げが増加し、前年同期の営業損失から営業利益となりました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比35.1%増の198億11百万円となり、営業利益は前年同期比144.9%増の14億3百万円となりました。

## ② 化学製品事業

医薬・農薬分野では、慢性腎不全用剤「クレメジン」等の医薬品の出荷は減少しましたが、農業・園芸用殺菌剤の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益は共に増加しました。

工業薬品分野では、無機薬品類および有機薬品類の売上げは増加し、この分野での売上げ、営業利益は共に増加しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比12.9%増の126億41百万円となり、営業利益は前年同期比150.6%増の19億9百万円となりました。

## ③ 樹脂製品事業

コンシューマー・グッズ分野では、家庭用ラップ「NEWクレラップ」、フッ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益は共に増加しました。

業務用食品包装材分野では、熱収縮多層フィルム等の売上げが増加し、この分野での売上げは増加し、前年同期の営業損失から営業利益となりました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比5.9%増の222億28百万円となり、営業利益は前年同期比46.5%増の33億35百万円となりました。

④ 建設関連事業

建設事業は、民間工事および公共工事で建築工事が増加し、売上げは増加しましたが、営業利益は前年同期並みとなりました。

エンジニアリング事業は、営業利益は減少しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比22.7%増の72億34百万円となり、営業利益は前年同期比44.9%減の2億17百万円となりました。

⑤ その他関連事業

環境事業は、産業廃棄物処理等の増加により、売上げ、営業利益は共に増加しました。

運送事業は、売上げは減少しましたが、コスト削減により営業利益は増加しました。

病院事業は、売上げ、営業利益は共に減少しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比1.3%増の75億82百万円となり、営業利益は前年同期比68.7%増の5億99百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当第2四半期末の資産合計につきましては、前期末比41億95百万円増の2,391億2百万円となりました。流動資産は、前期末比2億94百万円減の749億78百万円となりました。非流動資産は、大型の設備投資が一巡したこと等により有形固定資産が前期末比3億27百万円減の1,155億84百万円となりましたが、その他の金融資産に含まれる投資有価証券の評価額の増加があり、前期末比44億90百万円増の1,641億24百万円となりました。

負債合計につきましては、前期末比151億67百万円減の937億66百万円となりました。これは、転換社債の株式転換が進んだこと等により有利子負債が前期末比149億94百万円減の560億13百万円となったこと等によります。

資本合計につきましては、前期末比193億63百万円増の1,453億35百万円となりました。これは、剰余金の配当を9億45百万円実施する一方、親会社の所有者に帰属する四半期利益を57億63百万円計上すると共に、転換社債の株式転換が進んだことにより資本金等が増加し、投資有価証券の評価額の増加等によりその他の資本の構成要素が増加したこと等によります。

(3) 今後の見通し

最近の業績動向を踏まえ、2017年度の通期業績予想につきましては、2017年5月12日に公表した数値を修正しております。詳細につきましては、本日（2017年11月8日）発表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	6,222	5,829
営業債権及びその他の債権	29,387	30,391
その他の金融資産	332	11
棚卸資産	36,497	36,389
売却目的保有資産	772	—
その他の流動資産	2,060	2,356
流動資産合計	75,272	74,978
非流動資産		
有形固定資産	115,911	115,584
無形資産	1,395	1,324
持分法で会計処理されている投資	10,714	11,369
その他の金融資産	25,342	28,508
繰延税金資産	1,350	1,359
その他の非流動資産	4,920	5,977
非流動資産合計	159,634	164,124
資産合計	234,907	239,102

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	20,369	18,452
社債及び借入金	46,689	26,212
その他の金融負債	836	556
未払法人所得税等	873	1,597
引当金	5,742	5,474
その他の流動負債	6,161	6,408
流動負債合計	80,672	58,700
非流動負債		
社債及び借入金	23,561	29,061
その他の金融負債	1,291	1,212
繰延税金負債	1,492	2,505
引当金	386	745
退職給付に係る負債	382	480
その他の非流動負債	1,147	1,061
非流動負債合計	28,261	35,066
負債合計	108,934	93,766
資本		
資本金	12,460	16,279
資本剰余金	9,430	13,326
自己株式	△4,456	△680
利益剰余金	101,731	105,879
その他の資本の構成要素	5,132	8,761
親会社の所有者に帰属する持分合計	124,297	143,566
非支配持分	1,674	1,769
資本合計	125,972	145,335
負債及び資本合計	234,907	239,102

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
売上収益	60,228	69,497
売上原価	43,472	49,975
売上総利益	16,756	19,522
販売費及び一般管理費	13,163	13,051
持分法による投資利益	772	1,109
その他の収益	227	182
その他の費用	81	513
営業利益	4,512	7,249
金融収益	272	311
金融費用	1,220	383
税引前四半期利益	3,564	7,177
法人所得税費用	469	1,400
四半期利益	3,095	5,776
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,052	5,763
非支配持分	42	12
四半期利益	3,095	5,776
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	177.61	325.46
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	147.70	278.86



要約四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期利益	3,095	5,776
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	536	2,251
確定給付制度の再測定	△173	372
合計	363	2,624
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2,763	721
キャッシュ・フロー・ヘッジ	0	—
持分法によるその他の包括利益	△1,041	—
合計	△3,804	721
税引後その他の包括利益	△3,440	3,345
四半期包括利益	△345	9,122
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△386	9,052
非支配持分	41	69
四半期包括利益	△345	9,122

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素		
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ
2016年4月1日残高	12,460	9,430	△4,450	95,723	304	△2,682	△2
四半期利益				3,052			
その他の包括利益						△3,793	0
四半期包括利益合計	—	—	—	3,052	—	△3,793	0
自己株式の取得			△1				
株式報酬取引					7		
配当金				△945			
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替				△136			
所有者との取引額合計	—	—	△1	△1,081	7	—	—
2016年9月30日残高	12,460	9,430	△4,451	97,694	311	△6,475	△1

	親会社の所有者に帰属する持分			その他の資本の構成要素		
	その他の包括利 益を通じて公正 価値で測定する 金融資産	確定給付制度の 再測定	合計	合計	非支配持分	資本合計
2016年4月1日残高	7,393	—	5,013	118,177	1,263	119,440
四半期利益			—	3,052	42	3,095
その他の包括利益	526	△173	△3,439	△3,439	△1	△3,440
四半期包括利益合計	526	△173	△3,439	△386	41	△345
自己株式の取得			—	△1		△1
株式報酬取引			7	7		7
配当金			—	△945	△35	△981
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	△36	173	136	—		—
所有者との取引額合計	△36	173	143	△939	△35	△974
2016年9月30日残高	7,882	—	1,717	116,851	1,268	118,120

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ
2017年4月1日残高	12,460	9,430	△4,456	101,731	319	△3,582	—
四半期利益				5,763			
その他の包括利益						720	
四半期包括利益合計	—	—	—	5,763	—	720	—
自己株式の取得			△2				
自己株式の処分			0	0			
株式報酬取引		△0	29	△4	△17		
配当金				△945			
転換社債の転換	3,819	3,896	3,748	△116	△190		
非支配持分との資本取引							
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替				△549			
所有者との取引額合計	3,819	3,896	3,775	△1,615	△208	—	—
2017年9月30日残高	16,279	13,326	△680	105,879	111	△2,862	—

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素						
	その他の包括利 益を通じて公正 価値で測定する 金融資産	確定給付制度の 再測定	合計	合計	非支配持分	資本合計	
2017年4月1日残高	8,395	—	5,132	124,297	1,674	125,972	
四半期利益			—	5,763	12	5,776	
その他の包括利益	2,195	373	3,288	3,288	57	3,345	
四半期包括利益合計	2,195	373	3,288	9,052	69	9,122	
自己株式の取得			—	△2		△2	
自己株式の処分			—	0		0	
株式報酬取引			△17	6		6	
配当金			—	△945	△41	△986	
転換社債の転換			△190	11,157		11,157	
非支配持分との資本取引			—	—	66	66	
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	922	△373	549	—		—	
所有者との取引額合計	922	△373	340	10,216	24	10,240	
2017年9月30日残高	11,512	—	8,761	143,566	1,769	145,335	

## (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について、国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「機能製品事業」「化学製品事業」「樹脂製品事業」「建設関連事業」「その他関連事業」の5つを報告セグメントとしております。

各セグメントに属する主要製品・サービスは以下のとおりであります。

セグメント	主要製品等
機能製品事業	P P S樹脂、フッ化ビニリデン樹脂、炭素繊維、球状活性炭 リチウムイオン電池用負極材、P G A (ポリグリコール酸)樹脂および加工品
化学製品事業	慢性腎不全用剤、抗悪性腫瘍剤、農業・園芸用殺菌剤、か性ソーダ、塩酸 次亜塩素酸ソーダ、モノクロルベンゼン、パラジクロルベンゼン、オルソジクロルベンゼン
樹脂製品事業	家庭用ラップ、流し台用水切り袋、食品保存容器および調理シート、フッ化ビニリデン釣糸 塩化ビニリデン・フィルム、熱収縮多層フィルム、多層ボトル、自動充填結紮機(食品包装用)
建設関連事業	土木・建築工事の施工請負業務、工事監理業務
その他関連事業	環境修復および産業廃棄物の処理、運送および倉庫業務、理化学分析・測定・試験および検査業務 医療サービス

## (2) 報告セグメントの情報

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した方法と同一であります。セグメント間の内部売上収益は、主に市場価格に基づいております。

当社グループのセグメント情報は以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位：百万円)

	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計	調整額 (注)	要約四半期連 結損益計算書 計上額
売上収益								
外部顧客への 売上収益	14,662	11,200	20,985	5,893	7,487	60,228	—	60,228
セグメント間の 内部売上収益	280	151	92	2,949	2,746	6,220	△6,220	—
計	14,943	11,351	21,077	8,843	10,233	66,449	△6,220	60,228
営業利益	572	761	2,276	394	355	4,361	150	4,512
金融収益								272
金融費用(△)								△1,220
税引前四半期利益								3,564

(注) 営業利益の調整額にはセグメント間取引消去等による利益4百万円、主に報告セグメントに配分していないその他の収益227百万円およびその他の費用△81百万円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位：百万円)

	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計	調整額 (注)	要約四半期連 結損益計算書 計上額
売上収益								
外部顧客への 売上収益	19,811	12,641	22,228	7,234	7,582	69,497	—	69,497
セグメント間の 内部売上収益	346	184	189	2,153	2,799	5,673	△5,673	—
計	20,157	12,826	22,418	9,387	10,381	75,171	△5,673	69,497
営業利益	1,403	1,909	3,335	217	599	7,464	△215	7,249
金融収益								311
金融費用(△)								△383
税引前四半期利益								7,177

(注) 営業利益の調整額にはセグメント間取引消去等による利益115百万円、主に報告セグメントに配分していないその他の収益182百万円およびその他の費用△513百万円が含まれております。

(資本およびその他の資本項目)

当第2四半期連結累計期間において、転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により、自己株式の処分を827,167株、新株の発行を1,764,050株実施いたしました。これにより、資本金が3,819百万円、資本剰余金が3,896百万円それぞれ増加し、自己株式が3,748百万円、利益剰余金が116百万円、新株予約権が190百万円それぞれ減少しております。